

平成29年度 北海道小学校長会
第4回理事研修会
函館の進捗状況について
秋山 研究指名理事
2017. 12. 18



函館の研修部を担当している秋山から、函館の進捗状況について説明する。

今日は2点について説明させていただく。

まず、大会のジャンパーであるが、新調すると結構な金額がかかるので、当初は、「ジャンパーなしでも良いのではないだろうか」という声もあった。ところが、幸運な事に、函館マラソンがハーフマラソンからフルマラソンに変わったため、ハーフマラソンのジャンパーが余っているという情報をつかみ、確認したところ150着近くを無料で譲り受けることができる事になった。それを、全連小の北海道大会で活用したいと思う。これがそのジャンパーである。(着用して示す)

なお、大会袋も、この黄色に合わせて作製する事になる。大会当日は、黄色のジャンパーや袋が街の中を動き回る事になる。

次に、参加者の移動について説明する。大会当日は、2,000名以上の方が動く。分科会移動の際、いかに混乱なく、素早く確実に移動することができるかが大きな課題である。現在の計画は次のようになっている。

分科会会場は、アリーナを除くと湯川地区、五稜郭地区、駅前地区の大きく3箇所に分かれる。湯川地区へは徒歩で、五稜郭地区へは路面電車で、駅前方面へはバスでの移動となる。アリーナの周辺は、バスが何台も駐車できるようなスペースはない。また、多くの方が待機できる場所もない。そこで、電車は、駒場車庫前まで、バスはJRAの駐車場まで歩いて移動する事になる。狭い道を多くの方が移動するので、混乱の無いよう進めていきたい。

以上、進捗状況についての簡単な説明になった。函館では、大会を成功させようと準備を進めているが、人数が限られているので、様々な場面での皆様のご協力をお願いすることになる。よろしくお願い申し上げます。